

事業番号	08 04 38	事業改善シート（25年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☒ 補正予算案	☐ 点検
事業名	水産試験場試験研究費			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1－3 夢に挑戦する農業 ◆自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	S56 ～	

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業においては良好な水産環境の保全技術及び水産資源増殖技術の開発、養殖業においては魅力ある養殖品種の開発及び魚病対策技術開発を目指す。					
現状	○県内河川湖沼漁場において、コイのヘルペスウイルス病やアユの冷水病等の魚病が発生し、また、ブラックバスなど外来魚による在来魚の生息環境の悪化がみられる。 ○養殖業において、信州サーモンに次ぐ新たな養殖品種の開発及び信州サーモンの品質向上が求められている。					
県が関与する理由	☐ 法令等義務 ☐ 内部管理 ☒ 県でなければ実施不可 ☐ 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 ☐ その他()		【左記の説明、根拠法令等】 持続的養殖生産確保法に基づく特定疾病の確定診断や地域課題解決に向けた試験研究開発は県で実施する必要があり、県内で対応できる機関は無い。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)					
	○水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上に関する新しい知見を得る。 目標:7件(7つの試験研究項目)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25実施内容	H25 (補正前) (2月補正) (補正後)		
	増養殖技術の改良・確立	直接	・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・コイヘルペスウイルス病対策研究	4,497	-1,000	3,497
	市場性の高い品種の開発	直接	・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発	2,291		2,291
	水産環境の保全	直接	・外来魚駆除技術開発 ・温暖化適応技術開発	2,218	-327	1,891
			合計	9,006	-1,327	7,679

事業コスト	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25補正後
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	12,542	12,094	10,443	9,006
		補正予算				-1,327
		合計(A)	12,542	12,094	10,443	7,679
	Aの財源	国庫支出金	952	1,060	1,057	1,057
		県 債				
		その他	7,562	8,491	7,131	4,387
		一般財源	4,028	2,543	2,255	2,235
	決 算 額(B)		88,865	81,001	10,443	
	概 算 人件費	職員数(人)	8.70	8.50	8.50	8.50
		概算人件費 (C)	72,358	70,193	70,193	70,193
概算事業費(B(A)+C)		161,223	151,194	80,636	77,872	

(注) 22,23年度の決算額(B)は水産試験場費総額

成果目標の達成状況					
項目	現況 (見込)	H 2 5			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
新知見の取得	7件	7件			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------